

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3 年 11 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら川崎大島 教室

保護者等数(児童数)47名 回収数 36 割合 76 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	35件	1件	0件	0件	・子どもの年齢や成長によっては狭く感じる場合もあるかと思えます。	・個別学習、プログラム、遊び等場面に合わせて必要なものを以外空間内に置かないよう努めているが、幅広い年齢層の児童が利用しているため、画一的にならないよう利用児童に意見を聞く機会を設けていく。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	30件	3件	0件	3件	・利用し始めて間もないので、分かりません。・どの先生も皆親和的で専門性もあり安心して預けられています。	・職員の所有資格は一覧として保護者へお渡しているが、普段の取り組みの様子を丁寧に伝えていき信頼しあえる関係性に努める。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	29件	3件	0件	4件		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	32件	1件	0件	3件	・面談や見学時にいつも綺麗で広々と活動しやすくなっている。	・継続して感染症対策や清掃等に努め、より過ごしやすい空間を目指していく。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	33件	2件	0件	1件		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	31件	1件	0件	4件		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	33件	2件	0件	1件		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	33件	3件	0件	0件	・プログラムが毎月マンネリ化せず、子どもの興味を誘いつつ、しっかり学べるよう工夫され、意欲している。 ・毎日プログラムが違うので、楽しみにしています。 ・運動や制作等色々なプログラムがあって良い。ただ、「この日にきたかったか」や「またあれやりたい！」等言われることもある。	・今後も季節の行事やイベント等、各月ならではのプログラムを積極的に取り入れ、利用児童が様々な経験をしていけるよう取り組んでいく。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	16件	4件	3件	13件		
保護者 への 説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36件	0件	0件	0件	・見学・契約時に細かく丁寧に説明して頂いたので分かり易かったです。	・職員一人ひとりが共通して把握しておけるように努めていく。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	32件	2件	0件	2件		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	15件	4件	3件	14件		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	32件	3件	0件	1件	・支援経過記録帳で毎回の活動や状況を伝えてくれるので、とてもありがたいです。 ・職員さんによって詳しくお話しをしてくれたりします。 ・送迎や月ごとのフィードバックで充分に認識の共有ができています。 ・まだ面談をしていない。	・連絡帳や送迎時の対応等で、実施した内容だけでなく、その中でどのような言動がみられたか、どんなことを頑張れたか等を丁寧に伝えていけるよう意識して取り組んでいく。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30件	4件	0件	2件		・定期面談で適切な支援が行えるよう、日常の様子や課題、達成されたこと等児発管との共有を密に継続していく。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8件	9件	11件	8件	・一度くらいあると助かる。 ・コロナもあり、現在は難しいと理解しています。 ・コロナ禍なので致し方ないと思いますが、あると有難いです。	・コロナ禍の影響で現状実施されていないが、希望は出されており状況を見ながら検討していく。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	31件	2件	0件	3件	・すぐに連絡を頂けるので助かっています。 ・前に日数の相談をお伝えしてから、来年度の希望アンケートが届くまで何もなかったです。 ・真摯に対応頂いているのでとても誠意を感じています。	・管理者、児発管、職員一人ひとりが連携しながら早めの対応を心がけ、時間を頂く場合もその旨を丁寧に伝えることで保護者の不安軽減に努めていく。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32件	2件	0件	2件	・言葉選び等少し気になる所がありました。 ・送迎時や支援ノートなどで確認できている。	・口頭や連絡帳等で、正しく伝わりやすくを職員一人ひとりが今後も心掛けていく。
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	34件	1件	0件	1件			

	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	35件	0件	0件	1件	・インスタも顔出しできない子は写っていないかったり配慮されています。	・新聞やInstagram等ダブルチェックを継続し、ミスが起こらないよう心掛けていく。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	26件	2件	0件	8件	・避難訓練は通所日に当たらないと経験できないので1～2回は体験して欲しい。	・避難訓練は毎月の実施曜日をずらすようにしており、利用児童全員が参加できるよう努めているが、それ以外でも防犯や感染症対策など学んでいける機会を様々な設けるように努める。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31件	0件	0件	5件	・心配性なので、連絡はせずに迎えに行った方がいいのか細かい所が気になります。 ・避難訓練は通所日に当たらないと経験できないので1～2回は体験して欲しい。	・毎月避難訓練のプログラムは実施しているが、職員の動きやマニュアルなどの面でも確認していけるよう取り組んでいく。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	33件	2件	0件	1件	・毎回こぼんは「楽しい！」と言っています。 ・とても楽しみにしている。沢山褒めて頂ける事が気につながっている。 ・家に帰っても楽しそうに教えてくれます。 ・大変楽しみに通えています。	・集団プログラムの内容はもちろん、普段の関わりを通して、「楽しい」「また行きたい」と感じられるように、職員一人ひとりが意識し楽しんでいる姿を見せ取り組んでいく。
	23	事業所の支援に満足しているか	31件	5件	0件	0件	・もう少しアプローチが強くても良い気がする。 ・毎回活動内容・様子を都度伝えて頂けて安心している。迷っても助かっている。 ・コロナ禍でも食育などを頂き、神経質にならざるを得ない中、感謝しております。 ・こぼんはこぼんに適うようになって本当に伸びたと思います。とても感謝しています。	・課題の達成、成長のスピードは一人ひとり異なるが、小さな積み重ねを保護者・職員がお互いに感じられるような支援を今後も心掛けていく。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 11 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら川崎大島教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9件	0件		
	2	職員の配置数は適切であるか	9件	0件	その日の利用児童の人数、メンバーを考慮しながら勤務表を組み、適切な支援が行えるよう取り組んでいる。	今後も利用児童の人数を確認しながら、適切な支援が行えるよう取り組む。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9件	0件	文字だけでなく、イラスト等も用いてその日の活動内容や流れがわかりやすい環境設定を行っている。	おおむねフラットな空間だが、手すり等の設置は行われていないが、必要な場合は検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9件	0件	日々の清掃、感染症対策から丁寧に行っている。遊びやプログラム等その場面での必要以外のものは児童の目に触れないように努めている。	感染症対策等考慮しながら、清掃に努めていく。また、随時気付いた時に清掃をする。児童が気にしてしまう物は、職員で話し合いながら環境づくりに努めていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8件	0件		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9件	0件		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7件	0件		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6件	1件	大島教室はまだ実施していないが、日頃より資料、情報等の整理に努めている。	今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8件	1件	新人研修をはじめ、社内外の各種研修の紹介、促しを行っている。	今後は今以上に、職員一人ひとりのより積極的な参加の促しや、参加しやすい環境づくりが必要と考えている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8件	0件	カンファレンスやミーティングにて日々の様子を共有しながら計画の作成に努めている。	継続して、カンファレンスやミーティングを行い相談や共有をしながら計画の作成をしていく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9件	0件		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8件	0件		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9件	0件		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9件	0件	毎月職員間で意見を出し合うようにしている。	意見を出す職員が固定化されないよう、職員一人ひとりの取り組み意識の向上をより図っていきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9件	0件	季節の行事やイベント、お出掛けなどその月ならではのプログラムを積極的に取り入れている。	今後も、職員にアイデアを募集しながら、楽しんで成長に結びつくプログラムを考えていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	9件	0件	利用児童一人ひとりの課題が、個別、集団それぞれの面から解決できるよう支援計画の作成に努めている。	継続して、日々の児童の様子を共有し、継続部分や課題を見つけ支援計画を作成していく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9件	0件	朝礼や昼礼を実施し、前日からの引継ぎ内容、その日のプログラムの流れや留意点などの共有を密に行うようにしている。	今後も朝礼、昼礼、夕礼を密に行い引継ぎや留意点等を共有していき柔軟に役割分担を取り組んでいく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9件	0件	夕礼にて支援の振り返りを行い、翌日の朝礼や回覧板等に引き継ぐことで、その日出動していない職員にも情報が共有されるようにしている。	児童の送迎等で夕礼の時間を多く作ることが難しい為、今後も回覧板や繰り返し申し送りをしていき互いに確認をしていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9件	0件		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8件	0件	日々の支援の振り返りや定期的なモニタリング等を通じ課題の達成状況を細かに確認している。	継続して日々の振り返りや定期的なモニタリング等を通じ、課題の達成状況を細やかに確認していく。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7件	1件		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8件	0件		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2件	2件		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3件	2件		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7件	0件	必要に応じて相互の見学や担当職員との話し合いの場を設けている。	今後も必要に応じて、見学や話し合いの場を設けていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7件	1件	必要に応じて相互の見学や担当職員との話し合いの場を設けている。	今後も必要に応じて、見学や話し合いの場を設けていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4件	0件		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2件	4件		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2件	3件		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9件	0件	送迎時や連絡帳にて、活動の様子や情報共有を密に行っている。	継続して、送迎時や連絡帳、電話、面談等を通じて保護者と情報共有を密にしていく。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8件	1件	必要に応じて、保護者へのアドバイス、助言を行っている。	継続して、必要に応じ保護者へのアドバイス、助言をしていく。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9件	0件		職員間で知識量に差異がないよう、学習や再確認できる環境が必要。また日々の申し送り等を職員間で繰り返し伝えていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9件	0件		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9件	0件		継続して行う。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2件	4件		保護者からの要望あり、職員も行いたい考えはあるが、共働き世帯や各家庭の様々な状況もあり現状開催は難しい。今後検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9件	0件		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8件	1件	毎月の新聞やInstagram等での活動状況の発信や、お出掛け行事や長期休暇期間に際してはお便りを出している。	今後も行っていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9件	0件	事前に新聞やInstagramに載せてよいか保護者へ確認しており、毎回の発信前にはダブルチェックを必ず実施している。	継続して行う。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9件	0件	丁寧に簡潔な言葉選び、必要に応じて絵カードの使用などを行っている。	今後も成長を見ながら児童や保護者に対し、情報伝達の為に必要なことを考えて実践していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3件	4件		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9件	0件		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9件	0件	毎月避難訓練を実施し、また多くの利用児童が参加できるよう、毎月の実施曜日を必ずずらすようにしている。	継続して毎月避難訓練や必要な訓練内容を考え実施し、曜日も考慮して取り組んでいく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9件	0件	保護者への確認を密に行い、必要に応じて対応のマニュアルを作成している。	今後も必要に応じて考えていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9件	0件	提供するおやつや食育プログラムの内容について適宜保護者と確認しながら支援にあたっている。	継続して保護者と確認し提供していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9件	0件	事例集を作成するとともに、各ミーティング時に報告し合い共有に努めている。	今後も作成し共有していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9件	0件		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6件	1件		